

まつのみ

第37号 平成31年4月26日
発行元 社会福祉法人まつのみ福祉会
発行人 郷渡 茂治
〒580-0023
大阪府松原市南新町 1-10-2
TEL072-336-3233 FAX072-334-6466
<http://www.matsunomi.com>

法人設立二十周年を迎えて

1977年に親の会が中心となり、松原市ではじめての知的障害者の無認可作業所（利用者5名）として設立。その後、支援学校の卒業後の進路先として、年々利用者の増える中、保護者・関係者から親亡きあとの生活の不安から、運営の安定性を求め、1993年にまつのみ福祉会設立準備会が発足し、1999年に松原市で唯一の障害者福祉施設として、「ワークセンターまつのみ」（利用者50名）と共にオープンして20年が経ちました。

無認可作業所時代から現在に至るまで関わっていたいた先人の方々に心より敬意を表します。



こうして記念すべき節目を祝えますのも、行政並びに関係各位、地元地域の皆様方のご指導・ご支援の賜物と心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

この20年間、変動する障害者福祉施策に翻弄されながらも、「ワークセンターまつのみ」「まつのみ作業所」「生活支援センターれいんぼう」「地域生活支援センターかさ」を設置運営してまいりました。



「生まれ育ったこの松原で、いつまでも安心して暮らしたい」との願いを叶えるため、今後も一層の努力をしていくつもりでもありますし、新たな事業展開も目指していきたいと思えます。

今後とも多くの皆様型のご支援を得て成長していきたいと思えますので、ご支援を宜しくお願いします。

（萩原）

分場レクリエーション。今回のお題はこちら！

《**ところ、晴るかす。みらい、晴るかす。あべのハルカス**》

コース

《**暮らし。未来。ずっと息づく軌道がある。路面電車**》

コース

アンケートによりますとちょうど半々に分かれました。

春の暖かい陽気の中、遠くから自動車とならんで近づいてくる路面電車がみえます。なかなか見る機会のない光景です。スピードを落としホームに入ってきた電車に乗り込みます。見上げるハルカスを背にゆっくりと走り出します。まわりに車も走っていません。いっしょに信号待ちをします。しばらくすると車道とお別れです。家が立ち並ぶあいだを縫うように走っていきます。車窓からの景色を眺めているとほどなく目的地の住吉大社に到着しました。電車の旅はここまで。あとは帰りを楽しみに。

日本で一番高いビルのハルカス。300mに達します。ちょっと想像が付きません。のぼればその高さにあらためてびっくりします。遠くは大阪湾や六甲山、淡路島や明石海峡大橋、その気になれば京都までも見えそうです。見下ろせば大阪の街並み。通天閣や動物園、道頓堀の観覧車、天保山の観覧車、エキスポシティの観覧車など見放題です。ガラス張りの床まであって、スリルも味わえます。はるか下のほうに小さい小さい路面電車が走っています。高層でのソフトクリームで一息入れてから下界へ降りていきました。



レクリエーション

生活介護班では作業にも取り組んでもらっています。アルコール綿や紙おむつの梱包、お米の配達、納品や清掃などそれぞれのペースで参加してもらっています。

作業以外にも、公園などへの散策、絵を描いたり塗ったり、音楽を聴いたり楽器を鳴らしたりと過ごしています。最近では町会の方のご好意で、公民館にあるカラオケセットを使わせてもらいカラオケもできるようになりました。

そんな日々の中、外食とドライブを兼ねた課外活動に出かけてきました。「お寿司」「焼肉」「和食」の中からみなさんに選んでもらい、グループごとに日をきめての出発です。次々と回ってくるお寿司や、どんどん焼けていく肉、身体中に染みわたるお出汁の味など、みなさん堪能してもらったようです。

いつも以上に食の進んだ人もいたようですが、満足そうなみなさんの様子にわたしたちのこころも満腹になりました。





豚まん



大阪名物といえば、たこ焼きにお好み焼き、串かつにイカ焼きなどなど、さすがくいだおれの街、そうそうたるメンバーです。

その中で今回 B 型の課外活動は《豚まん・シュウマイ作り体験》に行ってきました。

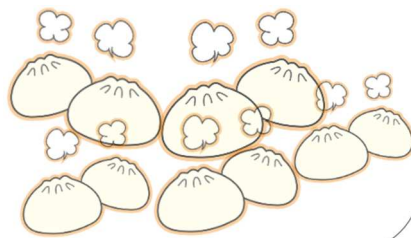
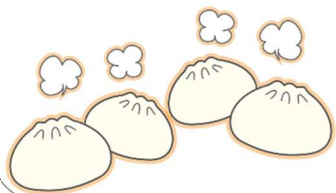
電車を乗り継ぎ、無事到着。いざ豚まんづくり！・・・うーん難しい。



あらかじめ作る数を減らしてもらっていたのですが、それでも難しい。利用者さんと一緒に作る職員の手もおぼつきません。お店の方はいとも簡単に作っていくのですがどうやってもそうはいきません。でもまあこんなものかと、形はどうあれ皆で和気あいあい楽しんで作りました。

作ったものは持ち帰り用にして、ちゃんとした（笑）ものをお腹いっぱい食べたあとは腹ごなしの散策です。ミナミの名所、グリコの看板や、くいだおれ人形、NGK などを見ながらウロウロしてきました。

豪華な昼食だったうえにお土産に作った豚まん焼売に加え、ちゃんとした（笑）ものも頂いてもらえて大変お得！味も文句なし！というわけで今回は家族のみなさんにも大変好評だったようでプライベートで行こうかしらという声もチラホラときこえてきました。



工房まつのみ

春になりワークの花だんにもいろいろな花が咲き始めました。花の季節は押し花の季節です。20 周年の記念品として押し花額を作製していますが、販売用にも随時作製しております。お手にとって気に入っていただけるように気持ちを込めて作っております。

ぜひ、機会があればご覧ください。



こちらはネコのポチ袋。ネコなのにポチ。かわいいネコポチになっています。最近はネコシリーズの商品も増えております。多数取り揃えておりますので、こちらもぜひご覧頂きたいと思っております。

陽気で心がウキウキする季節になりました。

しかし物事には必ず裏表があるので、乾燥やアレルギーによる肌荒れが起きたり、寒暖の差で体調を崩したりする人もいます。

また、春から新しい生活がはじまり気合いを入れて頑張っている人、新しい環境に戸惑いストレスを感じている人もいます。

グループホームではそのような人ひとりの気持ちに寄り添って支援できるようにこれからも支援していきます。

♪令和ガン年も

ガンガンガンばります

♪平わな令和

作るわ われわれ



生活支援センターれいんぼうは、平成14年2月より障がいのある方の相談支援事業を、開始しました。平成26年10月には松原市より、『松原市障害者等基幹相談支援センター事業』の委託を受けることになりました。

障がい種別問わず、松原市にお住まいの障がいのある方が地域で安心して生活していくことを支える相談支援を行い、権利擁護や虐待防止に関わる相談もお受けします。

住所：〒580-0023 松原市南新町 1-10-2

電話：072-336-3240 FAX072-334-6466

メール：rainbow2004@matsunomi.com

相談受付：月曜日から金曜日 9時から17時まで（窓口対応時）

（相談は24時間受け付けますが、

時間外、土日祝、年末年始は電話での対応となります。）